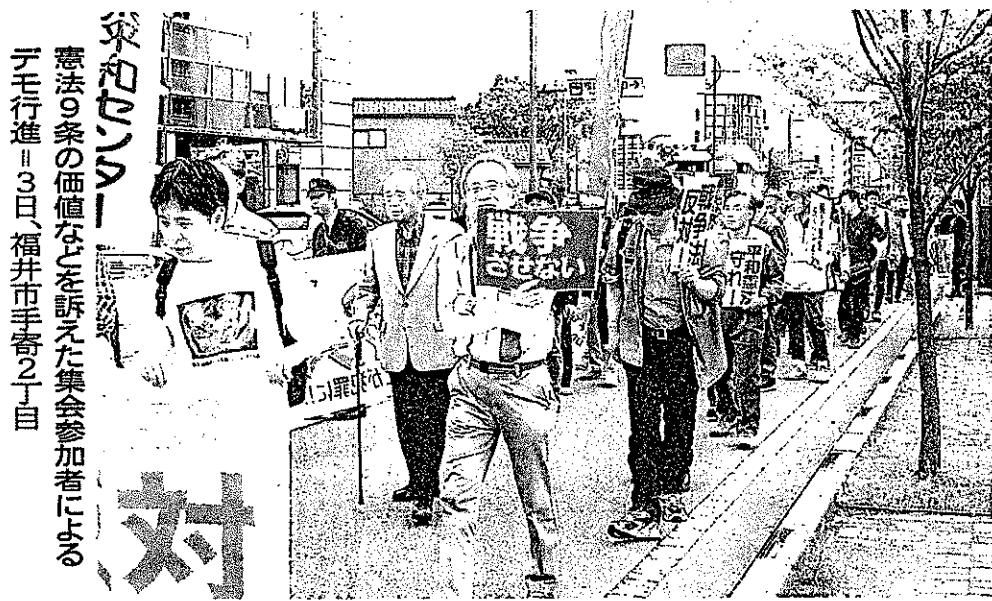


5/4
福井



福井で集会 350人 憲法の価値訴え

憲法記念日の3日、現行憲法の価値について考える「憲法を守り育てる集会」が福井市のアオッサ県民ホールであった。憲法施行から70年を迎えた。憲法の重要性はますます増大している。人類共通の財産として、世界の平和のために絶対必要」との認識を参加者はあらためて共有した。「九条の会・ふくい」と「戦争する国づくり反対! 福井総がかりアクション」が主催。約350人が参加した。

「九条の会」世話人の朝倉むつ子早稲田大学院教授(68)=労働法、ジェンダー法=が、「私と日本国憲法」9条は日本から世界への贈り物」と題して講演した。

朝倉教授は、安全保障連

法の成立過程に触れ、「9条の理念を闇議決定で覆した。立法主義に反する」と批判。安保法制に反対する専門家らの見解を挙げながら「この法律が違憲である、ということを絶対に忘れないことが大切」と訴えた。

全国で提起されている安保法制を「違憲」とする訴訟の状況も説明。朝倉教授が原告に名を連ねる訴訟もあり、「司法は正義と権利を守る最後のとりで。大きな声を壇上と懸念を表明した。

集会終了後、約100人がJ.R福井駅周辺をデモ行進し、「憲法を守ろう」などとシユプレヒコールを上げた。

(伊豆倉知)

上げていきたい」と理解を求めた。

また、「共謀罪」の趣旨を盛り込んだ組織犯罪処罰法改正案を巡り、弁護士の茂呂信吾さん(福井市)は「政府を批判する言動を抑圧する。民主主義が機能しなくなる」と